

ホトの 自治基本条例メモ



第16話

お問い合わせ
政策調整課(米原庁舎)
☎52-6626 ④52-5195

まちづくりに関わる人たちのそれぞれの役割についての続きだよ

この前は『市民の役割』だったよね。

自分たちが考えて、自分たちの力で、一人ひとりの活動の積み重ねが大切なのよね



その時、団体や事業者さん、市役所との協力が大切だったことも話したよね。

じゃあ「団体の役割」ってなんだろっ?

学校や自治会、その他にもいろんな団体があるわよね。個人じゃなくて、団体だからその役割があるってことかしら。



そつなんだ。地域のいろんな問題を解決するために、自分たちでその方法を考えて実行することができるんだ。

地域全体の問題も自分たちの力で解決していけるってことなの?

自分たちの住みよいまちの姿を、実際につくっていくことができるのね!



もしかしたら、市役所がしている仕事の中にも、団体でできることがあるんじゃないかなあ。

市役所や、事業者さんと協力すると、もっと大きな力になりそうだなわ。

そつなんだ。そのためにも、どんな団体がどんな活動をしているか、知ることができるといいよね。

地域で活動している団体を紹介している「ホットなまちづくりウォッチング」も参考になるよ。チェックしてね!



政策調整課の職員が、まちづくり団体を訪問。熱意をもって活動されているみなさんの「心意気」をレポートします。

板並炭焼き保存会

- 会員 16人
- 連絡先 ☎58-0838 (古田澄雄)
URL <http://itanami.jp/>



森林資源が豊富な上板並地区では、かつて炭焼きが盛んに行われてきました。時代の流れとともに生活様式が変わってきた中で、地域の伝統であるこの炭焼きを後世に伝えていきたいという考えに共感した仲間たちが集まり炭焼き保存会を結成されました。

そして、こどもたちに地域の伝統を知ってほしい、この地域の伝統を通じて自然豊かなこの地域の良さを知ってもらい移り住んでほしいという思いから、こどもたちや田舎暮らしに興味をもつ人たちに炭焼き体験を開催されています。

最近では、炭焼き体験を中心とした活動以外に、「さざれ石」の発見を機に、展示会や滝の見学ルートの整備など、新しい取り組みも始められました。また、今後は豊かな自然を生かして春夏秋冬、季節ごとのイベントをしていきたいとのこと。この冬は、雪深い地域の特性を活かしてかまくら体験を予定されています。

当たり前に見える山々や、当たり前食べているみずみずしい旬の食べ物。住んでいると気づかないけれど、外に住んでいる人からそれがどんなに素晴らしいことかを教えられるそうです。地域の良さ(資源)を再発見し、新しく発信する。伝統を大切にしながらも、新しい取り組みをされている炭焼き保存会が次はどんな「発見」をされるのか楽しみです。

お問い合わせ 政策調整課(米原庁舎) ☎52-6626 ④52-5195

掲載希望はこちらまで